

こくりゆう だより



10月号

大阪府立桜塚高等学校 1年 藤尾 春佳

「兄弟のほほえましいイラストを描いたので、そんな風景を見たいと思いました。」



今後のイベント情報

※場所の記載がないものはとよなか国際交流センターで開催します。



デザイン・パーティー

(ネパールの秋祭り)

10月13日(日)

17:00~19:00

ネパールの秋祭りを祝いながら、日本での暮らしについて情報交換をする会。

対象:ネパール人とその家族

定員:80名(申込先着順)

参加費:1000円

申込:10月12日(土)までに電話・来館で受付。

女性のための

哲学カフェ

10月20日(日)

10:30~12:30

大阪大学学生・米倉梨恵さん・田中 菜緒さんの進行で、「暮らしのなかの疑問」について話し合う。

定員:20名(申込先着順)

参加費:無料

申込:10月19日(土)までに電話・来館で受付。

保育:無料(首のすわった0歳~未就学児まで)

10月13日(日)までに要申込

国流シネマカフェ

『帰ってきたヒトラー』

10月20日(日)

14:00~16:30

現代にタイムスリップしたヒトラーを通して、現実世界と虚構が混ざり合うコメディ映画。

定員:30名(申込先着順)

参加費:無料

申込:10月19日(土)までに電話・来館で受付。

8月18日(日)開催

世界のおばけやしき



当日スタッフの集合写真

2度目の開催となった世界のおばけやしき。今年も約300名の来場者が訪れ、受付には100人以上の列ができるほどの盛況でした。

今年のテーマは「おばけと友達になろう！」。会場内には世界のおばけと話をするミッションが作られ、参加者は恐る恐るおばけと会話したり、一生懸命外国語でクイズに答えていました。

会場の外ではかき氷が配られ、『ひんやりおばけシアター』での上映、おばけのぬりえコーナーなど、会場の外にも楽しめるコーナーが盛りだくさん。当日実施した来場者アンケートでは「たのしかった！」という声が多くあがりました。

また、この日に向けてたくさんのボランティアスタッフにご協力いただき、事前準備から後片付けまで全ての作業を無事に終わることができました。当日はそれぞれメイクやシールでおばけになり、おばけやしき終了後には疲れた体をかき氷でクールダウンしながら、普段の活動や事業を超えた仲間たちと一日を振り返ることができました。(協会職員・三木幸美)



事前の準備のようす。段ボールで長〜い迷路を作りました。

恐怖レベルMAX！「おばけのたまりば」→

「おばけとはなそう！」↑

↑追り来るおばけたち…！！

↑ひんやりおやつコーナー

来場者の感想コーナー→

ぬりえコーナーや「おばけシアター」もとても好評でした！

8月24日(土)開催

～平和と共存のためのおまつり地球一周クラブ～

発見！体験！インドネシア！



クイズをしながら楽しくインドネシアについて知りました

当日は7名のこどもたちが参加しました。まず講師のデヴィナさんからインドネシアの紹介。写真を沢山使い○×クイズをまじえながら、わかりやすく進めてくださったので、こどもたちも楽しく積極的に参加していました。インドネシア語のあいさつも練習しましたが、あまり聞きなれない発音に最初は悪戦苦闘。何度かチャレンジすると、上手に答えることができるようになりました。



講師のデヴィナさん



紙人形作りにチャレンジ！

次は、風船運びゲームです。2人の顔や体の間に風船をはさんで踊りながら移動し、早くゴールしたペアの勝ち。こどもたち同士やボランティアのお姉さんとペアになり、息を合わせて移動！とても盛り上がりました。



BGMに合わせて踊りながら移動した、ドキドキの風船運びゲーム

最後はインドネシアの神様をモチーフにした紙人形の工作に挑戦。細かくて難しいところは少しだけ講師やボランティアに助けをもらいながら、集中して取り組んでいました。

講師が準備したメリハリをつけたプログラムや体験を通して、こどもたちはインドネシアに親しみを持つことができましたようです。(協会職員・大庭みゆき)

新しく入った おすすめ図書たち



【おしらせ】 館内の書籍コーナーが新しくなりました！

2017年9月号より掲載しているコーナー『協会おすすめ図書』で紹介された本たちが、館内の閲覧書籍コーナーに追加されました。

過去にこの『おすすめ図書』コーナーで掲載された小説や専門書、マンガなど約40冊の新しい書籍が配架されています。ほかにも、「移民・難民」「日本語/ことば」「多文化共生」をテーマにした本が追加され、従来にくらべて更に充実した図書コーナーとなっています。

一部の書籍や外国語の絵本は、2週間まで貸し出しも可能です。

センターにお越しの際は、ぜひ事務所奥の書籍コーナーにもお立ち寄りください！

今回は、TVAでベトナム人のコミュニティづくりをされている、ウーさんにお話を伺いました。

5年前に来日した時、私は日本語教室を探していました。そんな時、私がよく通っていたカトリック教会の友人がとよなか国際交流センターへ連れて行ってくださいました。それは私にとって、国際交流協会との大きな出会いでした。

初めて豊中市に来た時、ここにはベトナムの人達が非常に少ないと思っていました。しかし、そうではありませんでした。日を追うごとに多くのベトナム人や他の国からの人達が住んでいる事を知りました。そこで、ベトナムの人達のコミュニティをつくるべく「ベトナム人協会」を設立したいと思っていました。2016年に他の二人の友人と在豊中ベトナム人協会 (Toyonaka Vietnamese Association 略称TVA)を設立し、副会長の私は会長と色々な活動を行なっています。センターでは日本人ボランティアさんのご協力を頂き、毎週日曜日に「TVA日本語教室」をしています。それと卓球クラブ、カラ

オケクラブ、伝統的な民族の新年会、文化交流、料理会など様々な活動をとおして人的交流をしています。

2018年7月から前会長が仙台に移住したため、私が会長に就任しました。

これからも、私は会長として、<みんなのつながり>を更に発展させ、近い将来の具体的な目標として、生活に困っていてなおかつ日本語が苦手な技術者や実習生のサポートができるようにしていきたいと考えています。TVAの主催する各種スポーツの場にも彼らの健康管理のために積極的に招待していきたいです。



TVA(Toyonaka Vietnamese Association) 会長
ウー ホアン
Vu Hoang さん

コラム

少しでも北の国から@福島 (第19回)

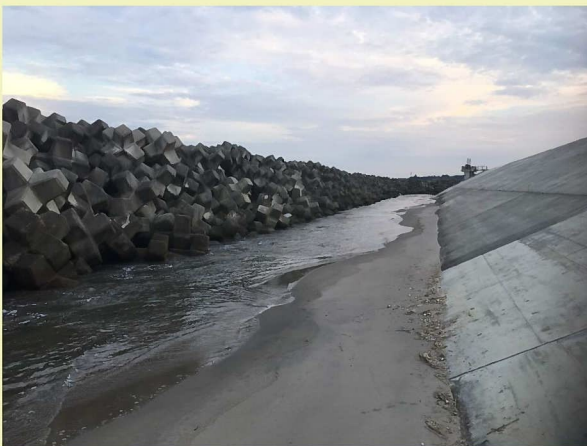
辻 明典

協会事業（哲学カフェ、プロジェクト“まんかふえ”等）に参加していた辻明典さんが、2013年度より故郷である福島県南相馬市に戻り、教員をしています。辻さんからの福島からの便りをどうぞ。

先日、大阪や神戸から友人たちが訪ねてきてくれました。

みなさんを地元の海にご案内したのですが、巨大な壁のようにそびえ立つ堤防に、本当に驚いていました。（外からやってくる方のお話を聞くと、私も改めてその異様な風景に気づかされました）。

海岸沿いの堤防に作られた、手すりのない階段を登った先にあったのは、狭くなってしまった砂浜と、巨大なテトラポットの山。砂浜は、巨大な堤防とテトラポットの山とのあいだに挟まれている。これは本当に異様な景色。



ここに立つと、ものすごい違和感が腹の底から湧き上がってくるのがわかります。砂浜に立っているはずなのに、海が全く見えない。圧倒的な人工物が作り出す圧迫感。自然をコントロールしようとする人間の傲慢さ。実はここは、大正時代まで潟（ラグーン）だったところなのです。近代化によって埋め立てられたこの地区は、津波の被害が大きかったところなのに・・・

テトラポットに波が打ちつけられるたびに、雷鳴のような音がして、なんだか海が人間に怒っているような気がしました。それは、僕が子供の頃に聞いたことがある音とは全然違う。それだけは、はっきりとわかりました。渚をつくってくれる波は、砂と海がさらさら混じり合う、もっと優しい音を奏でていたはずなんです。

【イベント告知】「アリラン峠を越えていく～在日コリアン音楽の今」

在日コリアン音楽の多様性とその背景にある歴史や、はざままで生きてきた在日コリアン音楽家たちの生きざまと情感を描いた映像作品の上映とパンソリ演奏、トークショー。盛りだくさんの3時間半です。ぜひお越しください。（特別協力：国立民族学博物館）

- 1部 映像上映「アリラン峠を越えていく」（75分）
- 2部 安聖民さん（パンソリ唱者）、趙倫子さん（鼓手）公演（15分）
- 3部 監修・出演者によるトークショー（75分）聞き手：松本康之（とよなか国際交流協会理事長）
安聖民さん（パンソリ唱者）、趙倫子さん（鼓手）、高正子さん（神戸大学非常勤講師）、寺田吉孝さん（国立民族学博物館教授）

【開催概要】



日時：10月19日（土）13:00～16:30
場所：すてっぷホール（エトレ豊中5階）
参加費：無料
定員：150名（申込先着順）
申込：センターにて電話・来館受付。

2019 10月の事業開催カレンダー

赤字はイベントです。イベントの詳細は表紙下部をご覧ください、
とよなか国際交流協会へお問い合わせください。

月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
30 もっど	01 おやこ 学業多	02 休館日	03 木ひる にこにこ 千里	04 金あさ にこにこ 相談 学業多	05 人生100年時代 誰とどう生きますか 14:00~16:30 日本語ボランティア 養成講座	06 貸室利用抽選会 目的利用：～12月末まで 一般利用：～11月末まで
07 もっど	08 おやこ 学業多	09 休館日	10 木ひる にこにこ 千里	11 金あさ にこにこ 相談 学業多	12 日本語ボランティア 養成講座	13※1 がちゃ 母語 サンプル 若者 デザイン・パーティー 17:00～19:00
14 体育の日 ※にほんごはありません	15※2 おやこ 学業多	16 休館日	17 木ひる にこにこ 千里	18 金あさ にこにこ 相談 学業多	19 つとい アリン峠を越えていく 13:00～16:30	20 がちゃ サンプル 若者 女性のための哲学カフェ 国流シネマカフェ
21 もっど	22※2 即位礼正殿の儀	23 休館日	24 木ひる にこにこ 千里	25 金あさ にこにこ 相談 学業多	26	27 がちゃ 母語 サンプル 若者
28 もっど	29 おやこ 学業多	30 休館日	31 木ひる にこにこ 千里	01 金あさ にこにこ 相談 学業多	02	03 がちゃ サンプル 若者

※1：13日の『ことば母語』『サンプルイス』は、合同で課外活動を行います。詳しくはとよなか国際交流協会へお問い合わせください。

※2：15日・22日の『おやこでにほんご』の活動については、活動場所によって開催の有無が異なります。詳しくはとよなか国際交流協会へお問い合わせください。

センターが主催する定例事業

月曜日…もっどもっどつかえるにほんご ※ひらがな・かたかなが書ける人が対象	10:00～12:00
火曜日…おやこでにほんご (千里・岡町・庄内の各図書館で実施)	10:00～12:00
子ども学習広場「学業多」 (庄内ガダバで実施)	16:30～21:00
木曜日…とよなかにほんご・木ひる	13:30～15:20
多文化こども保育にこにこ	13:30～15:30
千里にほんご (千里文化センターコラボで実施)	10:00～11:30
金曜日…とよなかにほんご・金あさ	10:30～12:00
多文化こども保育にこにこ	10:30～12:00
外国人のための多言語相談	11:00～16:00
子ども学習広場「学業多」	17:00～19:00
土曜日…韓国・朝鮮のことばとあそびのつとい ※毎月第3土曜日のみ	9:30～11:30
日曜日…にちょうがちゃがちゃだん	10:00～12:00
ことば母語※第2,4日曜日のみ	10:00～12:00
学習支援サンプルイス	13:00～15:00
若者のたまりば	17:00～20:00

今月のピックアップ

「留学生ホストファミリー事業」

留学生とホストファミリーのホームビジット型の交流活動です。春と秋に「出会いの会」が行われ、ホストファミリーと留学生とで対面した後、半年または1年にかけて大阪大学やJASSO大阪日本語教育センターの留学生と交流しています。

運営はボランティア有志の「ホストファミリー世話人会」が中心におこなっており、マッチングやボランティアのフォローのほか、様々なイベントや日本文化体験のプログラムも開催しています。

留学生が日本滞在中、それぞれ連絡を取り合いながら月に1～2回程度交流するのが大半です。自宅に招いたり、近所を散歩したり、観光地に行ったり…と、親交を深めていきます。卒業式へ参加したり、更に留学生の結婚式に招待されたり、留学生に子どもが生まれ家族ぐるみのお付き合いまで継続されているホストファミリーもおられます。



とよなか国際交流センターおしらせ

「こくりゅうだより」第126号(2019年10月号)

発行元・問い合わせ:(公財)とよなか国際交流協会

〒560-0026 大阪府豊中市玉井町1丁目1-1エトレ豊中6F

(阪急宝塚線豊中駅すぐ)

開館時間:9:00～21:30(貸室受付は20:00まで、水曜休館)

TEL:06-6843-4343 FAX:06-6843-4375

E-Mail:atoms@a.zaq.jp WEB:http://www.a-atoms.info/



SNSも随時更新中!

多言語情報も
配信しています!



「とよなか国際交流センター」で検索!

場所の記載のないものはとよなか国際交流センターで実施しています。
定例事業の参加についてはとよなか国際交流協会にお問い合わせください。